

2012年 1月

敬愛します諸教会の先生、兄姉の皆様

伝道の守り



伝道は、主に地下鉄駅前の広場でしています。数ヶ月前、広告を配布していた青年が、「何を配っているのか、ボクにも読ませてください。」と言って受け取りましたが、その場で読んだ後、「こんなものを配られては困る、この国はロシア正教なので関係ない。」と言って返しに来ました。さらに、他の受け取る人々にやめさせようと声をかけ、私にも、「お願いだからやめてください。」と頼むのです。

先月は、私のそばで広告を配布していた年配の婦人が小冊子を受け取りましたが、「これはセクトだ。ロシアに他の宗教はいらない。」と言って返しに来ました。「これはセクトでは

なく、聖書をわかりやすく学ぶための冊子です。」と説明すると、再度受け取りました。

しばらくして、ともに奉仕をしていた高校生の所へ警官2名が職務質問に来たので、私もあわててかけよりました。すると、さっきの婦人も来て、冊子を手に取り確認している警官に、それはセクトの読み物だと言いはじめます。警官は私のパスポートを見て、「なぜ教職（教師ビザのため）でこういうものを配布しているのか。」と聞くので、「私はクリスチャンです。教会の奉仕でしています。」と言いました。彼らは、私たちのパスポートや小冊子をさらに見た後、何もとがめることなく配布を続けさせてくれました。私はすぐにその婦人のもとに行き、「警官たちは、この小冊子の中を全部見て何も言いませんでした。セクトでないとわかって、配布を続けさせてくれるのです。」と話すと、その婦人は憮然とした面持ちでしたが、違う種類の小冊子をさらに受け取ってくれました。

伝道の間での警官との対応時は、特に兄姉の背後でのお祈りを実感します。感謝いたします。

I A生徒の救い

I Aの7名の在学日本人生徒の内、昨年10月から今年1月で、4名が信仰告白をすることができました（小学3年と6年生女子、2名の中3女子）。彼女たちの救いの確信のため、また未信者のご両親のもとですので、信仰の守りと成長のためにお祈りください。

マルタ・ハウエル姉妹

ハウエル宣教師ご家族と私は、同じ時期にロシアに来たので、語学学校でロシア語をともに学びました。ご夫妻は、時にカザンスカヤ教会の働きに協力してくださり、福音宣教の働きをともにしてきました。また、単身の私に大変良くしてくださいました。残念ながら、ご家庭の事情で約4年前に米国に戻られました。

1月12日、奥様のマルタ姉が大きな病いにより、主のもとに召されました。ともにロシアで労した同労者の死に、大きな悲しみを感じています。ハウエル師とご家族に、主の豊かな慰めがありますように、そして、かつてご夫妻がロシアで蒔かれた福音の種が、これからも実りますようにお祈りしています。



2000年、語学学校にて

在主

ロシア宣教 佐藤 葉子